



祝祭日には



を掲げましょう

# いまこそ集落創生

第13回 三枝地区



【上段】定期的に地区内の道路や公園の清掃・整備を実施。住民が協力し合い、美化活動に努めている 【下段】桜が咲き乱れる春の三枝公園。公園では育成会の行事のほか住民総出のグラウンドゴルフ大会などが行われる

町中心部から西へ約4km、真室川町平岡と隣接する三枝地区。大又・凝山・持越の3集落で構成されており、それぞれ45、13、12世帯、合わせて70世帯、256名がこの地で生活しています。「3つの支村であったという説のほか、いくつかの説がある」と天口健一けんいち区長は前置きし、地区名の由来は不明と話します。約50年前まで、地区の中心には三枝分校がありました。今その跡地には地区公民館、そして三枝公園があり、地域づくりには欠かせない存在となっています。

4月に地区内の道路や公園の清掃作業を行っているほか、6月には子どもからお年寄りまで住民総出の隣組対抗グラウンドゴルフ大会を催し、地区全体として親睦を深めています。また、各集落にはそれぞれの歴史があり、今でもそれらを引き継いでいます。凝山の「観音菩薩祭り」、持越の「子安観音まつり」は代表的なもの。大又では、神社例祭や馬頭観音祭り、若者による八幡様獅子神楽などを守り継いでいます。「子ども達も年々減少し、高校生以下は20人となってしまった」と区長は少し寂し気に語る一方で、「12月には大又で山の神の勧進を行っているが、今では5名体制となった。大人たちも協力し行事を守っていきけるよう頑張っていかなければならない」と決意を述べます。

昨年には、道路清掃や草刈り、花壇の整備など長年の地区活動が認められ、「県土づくり感謝状」を受賞しました。また、平成29年度で三枝公民館大会は60回の節目。「これらを契機とし、さらに住民が力を合わせて地区を活性化できるように頑張っていく」と天口区長は意気込んでいました。

金山町の人口は、5,516人（2月末現在）

男性	2,681人（-2）
女性	2,835人（-6）
世帯数	1,764世帯

2月の異動	
出生	2人
死亡	9人
転入	4人
転出	5人

## 編集 幸記

▼金山中学校の卒業式を取材中、卒業生が真新しい制服に身を包んでいた入学式のことを、ふと思い出しました。その時、私も広報担当として1年生、勝手に親近感を感じていただけに、皆さんの卒業は感慨深いです。

▼広報かねやまに携わり3年。私は卒業できるかは分かりませんが、3年は『転機』のサイクルとも言われているそう。どんな業務をしていますが、真新しい気持ちで「金山の今」をお届けしていきたいと願っています。（166）